

芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

私は、童画や絵本の作家になったのは、祖父の影響だと思っています。私の祖父は、新潮会に属していた画家で、三谷恒夫といまいます。そんな祖父が、私の最初の師匠でした。祖父が生まれたのは、私の祖父の住む松浜町でした。物心がつくころから、油絵や陶芸に囲まれて育ちました。一昨年、そんな祖父への思いを、やっと絵本にできました。

絵本、だいたいです。おじいちゃんはおじいさん、おばあちゃんはおばあちゃん。家族の温もりや絆を描いたお話です。もともと、三年前に雑誌に発表したものでしたが、東本願寺出版から絵本として出版されました。私が、初めてパンダに出会ったのは、

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

12月4日～10日は <人権週間>

問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055

日々の生活と人権を考える集い2009 トーク&ゴスペルコンサート 人生あきらめたらあかん!

今回の講師は、吉本新喜劇、岡八朗さんの長女・市岡裕子さん。16歳で母親の自殺、父八朗のアルコール依存症、弟の死と、相次ぐ不幸に見舞われました。そんな中、ブルックリン・クイーンズ音楽院に学び、ゴスペル歌手の道を歩んできました。今回は、自叙伝『泣いた分だけ笑ひたる!』を著した市岡さんに、絶望からの再起についてお話しいたします。

日時 11月26日(木) 午後1時開場 午後1時30分～3時30分
会場 ルナ・ホール
内容 《1部》講演会 《2部》ゴスペルコンサート
講師 ゴスペル歌手・市岡裕子氏
定員 先着650人(手話通訳・要約筆記あり)
その他 2歳以上・託児あり(要予約)

「人権週間」は、昭和二十三年十一月十日の国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められたものです。法務省・全国人権擁護委員連合会が、毎年「世界人権宣言採択日を最終日とする一週間を人権週間」と定めたものです。市では、「この人権週間」の記念事業として、日々の生活と人権を考える集い「左記を開催し、人権意識の普及高揚を図っています。多くの皆さんの参加を、お待ちしております。」

「愛ある使命物語」～人には一人一人使命がある～

日時 11月30日(月) 午後2時30分～4時30分
会場 ルナ・ホール(手話通訳・要約筆記あり)
講師 シンガーソングライター・BOROさん
《プロフィール》伊丹市出身・伊丹大使、シンガーソングライター。ヒット曲「大阪で生まれた女」。筋ジストロフィーの少女との出会いから「YAYAKA」基金を設立。
定員 600人 ■託児 6カ月児以上・保険料1人250円 ■申し込み はがきまたはファクス(5人まで)に、講演会名・参加者氏名(全員)・代表者氏名・連絡先(電話・ファクス)、託児希望のかたは子どもの氏名・年齢を明記し、11月20日(金)までに下記へ
問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244
☒ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【文学館講座】“ほっこり”書で遊ぶ講座

日時 11月18日(水) 午後1時30分～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 実用的な書 ■講師 京都光華学園伝統文化科特別講師・石井みや美氏 ■受講料 3,000円 ■定員 16人 ■申し込み 上記へ

【文学館講座】作家を囲む読書会

日時 11月26日(水) 午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 柳谷郁子作「月柱(コーヒー付き)」 ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■受講料 2,300円 ■定員 16人 ■申し込み 上記へ

【文学館講座】ヨーロッパ・ルネサンス旅物語

日時 11月29日・12月13日・平成22年1月10日・2月7日・3月7日・4月4日(日) 午後1時～2時30分(全6回) ■会場 講義室 ■内容 映像を見ながら各国の歴史背景、イタリアを中心としたヨーロッパ・ルネサンスの歴史をわかりやすく解説 ■講師 甲南高校教諭・南里章二氏 ■受講料 1講座2,500円(初回に3回分・7,500円を前納) ■定員 16人 ■申し込み 上記へ

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

は、中学生のころです。昭和五十六(一九八一年)神戸で、ポトピアが開催されました。そこへパンダがやってきました。私は、そこで飼育を担当したのか、飼育日記を讀み、パンダが絶滅の危機にあることを知り、その時から、パンダのために少しでも何かできないかと考えるようになりました。

男女共同参画センター(ウィザスあしや)の催し

市民企画講座「みんなで楽しい絵本のある子育て」 ■日時 12月5日(土) 午前10時～11時30分 ■内容 パバが読む0歳からの絵本 ■対象 0歳～未就学児親子20組

同センター講座「自分を守る!護身術講座」 ■日時 12月10日(木) 午前10時～11時30分 ■対象 女性20人 ■一時保育 2歳以上8人・300円 ■講師 芦屋警察生活安全課長・県警科指導担当

■申し込み 講座名・住所・氏名・電話(ファクス)同伴または一時保育希望のかたは子どもの名前・年齢(月齢)を記入し、はがき・電話・ファクス・Eメールまたは下記窓口へ

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023/☎38-2175
☒josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-0092 大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)

「芦屋シティグラフ(ASHIYA CITY GRAPH)」好評発売中!

市では、「芦屋シティグラフ(A4判・52ページ)全カラー刷り」を発行・発売しています。芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらにふれつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)など盛りだくさんの情報を、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご活用ください。

■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

読売映画試写会 in 芦屋

(500)日のサマー

■日時 12月16日(水) 午後6時30分～(6時開場) ■会場 ルナ・ホール ■出演 ジョセフ・ゴードン＝ヴィット、ズーイー・デジャル / マーク・ウェブ監督作品 96分 ■入場 抽選で230組460人を招待(自由席) ■申し込み はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業を明記し、12月3日(木)までに、読売新聞大阪本社販売開発部(500)日のサマー係(〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9)へ

問い合わせ 市民センター ☎31-4995



永田 守「芦屋川の夏休み」 P.ファウスト「ウォーターパーク」 和泉成信「西浜公園に二重の虹」 古川 茂見「自然がいっぱい天然プール」 佐々木廣明「臨港線・遊歩道」 島村幸重「落日 キャナルパーク」



柿木 正「川面に映す美しき芦屋」 山内 守「霧の朝・芦有道路」 原 孝志「わが街・芦屋」 小西信久「芦屋川堰堤・山手町」 森田四朗「芦屋川河口」

【選定委員】 <敬称略> ■山中 健(芦屋市長) ■永田 徹(ハナヤ勤兵衛撮影部長) ■和田 行彦(グラフィックデザイナー・画家) ■井上 正三(画家) ■中村 公彦(広報課委員カメラマン)

「芦屋の四季・70選」第2期写真募集

市では、平成22年11月10日「市制施行70周年」を記念し、市民の皆さんに撮影していただいた芦屋の美しい風景を、記念写真集「芦屋の四季・70選」に掲載、未来へと芦屋の景色を残していきたいと考えています。

第2期募集分の締め切りは、平成22年1月15日(金)です。多くの皆様のご応募を、お待ちしております。

芦屋の美しい風景を、市制70周年記念写真集に残しましょう!

【募集要領】
■テーマ 2009年10月～12月 秋・冬 芦屋の風景セレクト
■内容 <第2期募集>今年撮影した市内の風景写真
■対象 市内在住・在勤・在学のかた
■規格 カラープリント・デジカメプリント2Lサイズ(1人3枚以内)
■謝礼 各期ごとに、選考作品に図書カード3,000円(選定)
■応募方法 応募作品の裏面に、住所・氏名・年齢・電話番号・作品タイトル(撮影場所)・撮影年月日を明記の上、平成22年1月15日(金)<消印有効>までに、郵送または持参で広報課へ
■選考方法 選定委員により、各期ごとに10点～20点を選考
■その他 作品は、未発表の写真に限り、応募作品の使用権は市に帰属し、作品は返却しませんので、ご了承ください。

芦屋市制70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」

問い合わせ 広報課 ☎38-2006(〒659-8501 住所不要)

第1期分・13作品が入選しました

「芦屋の四季・70選」第一期(七月)九月分の芦屋の風景写真を募集したところ、二十四人のかたが五十六点の写真を寄せくださいました。去る十月三十日、第一回選考会を開催し、応募作品の中から、次の十三作品が入選しました(左写真)

【入選作品】 応募順
■永田 守さん 「芦屋川の夏休み」
■ポール・ファウストさん 「ウォーターパーク」
■和泉 成信さん 「西浜公園に二重の虹」
■古川 茂見さん 「自然がいっぱい天然プール」
■佐々木 廣明さん 「臨港線・遊歩道」

■島村 幸重さん 「落日 キャナルパーク」
■柿木 正さん 「川面に映す美しき芦屋」
■森田 四朗さん 「芦屋川河口」
■竹田 委久子さん 「シーサイドタウン」
■山内 守さん 「霧の朝・芦有道路」
■原 孝志さん 「わが街・芦屋」
■小西 信久さん 「芦屋川堰堤・山手町」
■岸田 潤さん 「涼風ヨットのあな家」

今回は、全体的に芦屋浜・南芦屋浜の風景が大変多かったという印象を受けました。二期以降には旧市街地の風景写真をぜひとも寄せください。

平成22年度 競争入札参加のための業者登録

平成22年度 競争入札参加のための業者登録

市(水道部・芦屋病院含む)が発注する競争入札に参加するためには、あらかじめ登録が必要です。登録受け付けは2年に1回のみで、年度途中の新規登録は行いません。忘れずに、申請してください。今回から、申請される皆さんの負担を軽減するため、郵送申請に変更しています。ご注意ください。

【申請書の配布・受付期間】
■測量・建設コンサルタント等、物件等 申請書配布・申請書受付 11月16日～12月21日<必着>
■建設工事 申請書配布・申請書受付 平成22年1月4日～2月8日<必着>

【申請登録方法】
契約課窓(平日・執務時間中)または市ホームページから申請書を手渡し、下記へ郵送で提出してください。詳細はホームページで確認できます。

問い合わせ 契約課 ☎38-2012(〒659-8501 住所不要)

自転車の交通事故が増えています!

軽く見ていませんか? 自転車の違反・事故

法律上、自転車は車両です。自転車で事故を起こすと、刑事上の責任に加えて民事上の責任を問われる場合があります。実際に起こった事例をご紹介します。自転車で行き交わるときには、皆さんも歩行者優先意識と交通ルールの遵守に心掛けてください。

【事例1】メールをしながら運転中に歩行者に衝突
携帯電話の画面を見ながら自転車を運転中、歩行者に衝突。歩行者は転倒し、歩行困難となる後遺障害を負った。
■損害賠償5,000万円(横浜地裁・平成17年11月25日判決)

【事例2】歩道ですれ違う歩行者と接触
歩道上を走行中の自転車と歩行者がすれ違う際に、自転車のハンドルがショルダーバックの肩ひもに引っかかった。歩行者は転倒し、大けがをした。
■損害賠償1,743万円(東京地裁・平成8年7月29日判決)

問い合わせ 芦屋警察署交通課 ☎23-0110

読売映画試写会 in 芦屋

(500)日のサマー

第57回 市民寄席

ざこば・南光・都丸三人会

■日時 11月20日(金) 午後6時30分～(6時開場) ■会場 ルナ・ホール ■出演 ざこば・南光・都丸・団朝・ちよば ■入場料 前売3,000円(当日3,500円)<全席指定> ■チケット発売所 市民センター事務所・グリーン業平・市役所売店・ローソンチケット(Lコード58019)

桂 ざこば

桂 南光

桂 都丸

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

第15回 芦屋能・狂言鑑賞の会

<第11回阪神芸術祭参加事業>

■日時 11月27日(金) 午後6時～(5時15分開場) ■会場 ルナ・ホール ■入場料 前売3,000円(当日3,500円)<自由席> ■演目 「高砂・観世喜正」/「野宮・観世鏡之丞」/「蝸牛・茂山千五郎・茂山七五三」/「一角仙人・長山禮三郎ほか

■チケット発売所 市民センター事務所・グリーン業平・市役所売店・ローソンチケット(Lコード52393)